

小学6年 **社 会** — 解答と解説

【例】	問1	問2	問3
まだ食べられる食品が		ウ	エ
捨てられてしまう問題		24	25
21 22 23			

【例】	問4										
(1)	気候	夏	は	高	温	多	湿	に	な	る	(から)
	技術	品	種	改	良	が	行	わ	れ	た	(から)
26 27 28 29											

問4						問5				
(2) I	エ	II	イ	III	ウ	IV	ア	海	岸	線
(完答) 30									31	

問6	問7				問8	
エ	登呂	(遺跡)	記号	イ	大山	(古墳)
32	(完答) 33				34	

問9					問10		
班	田	収	授	(の法)	(1) イ	(2)	山上憶良 (やまのうえのおくら)
35					36		37

問11	問12		問13		問14			
エ	不	輸	(の権)	地	頭	封	建	(制度)
38	39		40		41			

問15			
(1)	1250	(m)	(2)
42			(3) ア
43		44	

【解説】

問1 B1 具体化

まだ食べられるのにゴミとして捨てられてしまう食べ物の問題を「食品ロス」といいます。原因として食べ残しが出ることや賞味期限（おいしく食べられる期限）が切れた商品が捨てられていることなどが挙げられますが、2017年度に捨てられてしまった食品は年間612万トンにのぼるそうです。事業系と家庭系がほぼ半分ずつをしめ、国民一人あたりにすると48キロになります。この問題をなくそうと、2019年（令和元年）10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律（略称：食品ロス削減推進法）」が施行されました。商品がいたむ「消費期限」とは異なり、賞味期限は余裕を持って示されているので、現在、賞味期限の表示の見直しが検討されています。

問2 A2 関係づけ

ウの表があらわしているのはぶどうではなく、レタスの生産です。ぶどうは、第1位が山梨県（甲州ぶどうが有名）、第2位が長野県（巨峰の生産日本一）、第3位が山形県（デラウェアの生産日本一）、第4位が岡山県（マスカットの生産日本一）、第5位が福岡県となっています。なお、ぶどうとももは主産県が似ていますので、気をつけましょう。

問3 A2 比較

手つかずの自然とはちがひ、人が手を加えて循環的に資源を利用している森林のことを「里山」といいます。むかしは村に近い里山で木を切り、柱や梁（屋根を支えるために横にわたした太くて長い材木）には松の木、壁をささえる横木には竹、屋根には茅（すすきなどの茎）などを用いてきましたが、最近はこの利用が少なくなって（鉄筋やコンクリートなどが普及したため）、里山が荒廃し、イノシシなどによる農作物の被害や土砂崩れなど自然災害が発生するようになってしまいました。

※ア：森林は二酸化炭素を吸収して酸素を放出しますので、この部分が逆になっています。なお、南米アマゾン河流域の熱帯雨林を特に「緑の肺」と呼ぶこともあります。

イ：日本は国土面積の3分の2（66%）を森林がしめています。木材の自給率は約37%しかありません。そのため、カナダやアメリカ、ロシア、フィンランドなどから木材を輸入しています。

ウ：国が保有する国有林は、森林面積の約31%しかありません。また、「三大美林」と呼ばれているのは、青森県の「津軽ひば」、秋田県の「秋田すぎ」、長野県の「木曾ひのき」です。

問4

(1) B1 理由

気候の面：北海道は亜寒帯気候（冷帯気候）に属しますが、上川盆地に位置する旭川市の日最高気温の平均値は6月が23度、7月・8月が26度、9月が22度となってお

り、降水量も7月～9月は100ミリを超えています。このことから「夏は（稲の生育に適する）高温多湿（多雨）になる」という解答が導きだせます。

技術の面：「品種改良が行われた」または「耐寒性の稲が作られた」などが考えられます。生物の遺伝質を改善して収量の増加や生産の安定などを目的とする品種改良は、稲のほか、さまざまな作物や家畜で行われています。

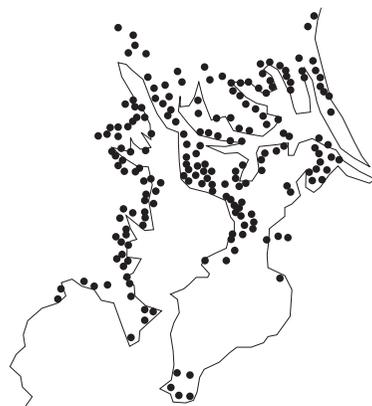
(2) **A2** 順序立てて筋道をとらえる

エとイの順番を間違えないように注意してください。田植えを行ってからトラクターや耕うん機を使うと、せっかく植えた稲がぐちゃぐちゃになってしまいます。なお、「田おこし」とは土を耕して細かくする作業、「しろかき」とは田おこしが済んだ田に水を張ってさらに土を細かくし、かきまぜて土の表面を平らにする作業をいいます。

問5 **B1** 抽象化 理由

右の図は縄文時代前期の推定海岸線と、発見された貝塚の分布をあらわしています。これにより、貝塚は当時の海岸線に沿ってみられることがわかりますね。

つまり、当時は現在よりもかなり内陸まで海が入りこんでいたのです。面積第2位の霞ヶ浦は、元入り江の「海跡湖」の代表として知られています。



問6 **A1** 知識

初めて土器を見たモースが「Cord Marked Pottery（縄の跡がついた焼き物）」と呼んだことから「縄文土器」と名付けられました。縄目の文様は「滑り止め」と考える学者もいます。なお、モースは1877年（明治10年）に大森貝塚（東京都品川区と大田区にまたがる縄文時代後期の遺跡）を発見したことや、ダーウィンの「進化論」を日本に紹介したことでも知られています。

※1 縄文時代の始まりは長い間1万2000年前とされてきましたが、1998年（平成10年）に青森県の大平山元遺跡から縄文土器の破片が発見されたことにより、現在は約1万6500年前とされています。

※2 アのナウマンは「ナウマン象」の名の由来となったドイツの地質学者で、断層地帯の「フォッサマグナ」を指摘しました。イのクラークはアメリカの教育家で、札幌農学校（現・北海道大学）の創立と教育に尽力しました。滞在はわずか9か月でしたが、学生たちに残した「Boys be ambitious（少年よ大志を抱け）」という言葉で知られています。ウのベルツはドイツの内科医で、30年余りの滞在中に記した「ベルツの日記」は当時の日本を知る史料として貴重なものとなっています。

問7 **B1** 置き換え

登呂遺跡は静岡市南部、安倍川東岸に位置する弥生時代後期の遺跡です。1943年に発見され、1947～50年にかけて発掘調査が行われ、住居跡や高床倉庫跡、水田跡、多数の木製農具などが見つかりました。当時の農耕生活を知る上で、貴重な遺跡となっています。

※地図のアは製紙・パルプ工業がさかんな富士市、ウは茶の栽培がさかんな牧ノ原、エは楽器・オートバイの生産で知られる浜松市です。

問8 **A1** 知識

大山古墳（大仙（陵）古墳、仁徳陵古墳、仁徳天皇陵古墳）は大阪府堺市にある百舌鳥古墳群の中心で、5世紀ころに作られました。日本最大の前方後円墳で、三重の濠に囲まれ、墳丘の長さは486mもあります。近年、一部が発掘調査され、円筒埴輪などが確認されました。この古墳をつくるには、一日2千人が働いても15年以上かかるといわれており、総工費は約800億円ほどだったと推定されています。

問9 **A1** 知識

6歳以上の男女に口分田を支給する制度を「班田収授（の）法」といい、「改新の詔」の第3条に規定があります。基本的に男性には2段（約23a）、女性にはその3分2の口分田が、戸籍の作られる6年ごとに支給されました。唐の「均田法」にならった制度で、農民の生活を保障し、課税対象を確保することが目的でした。

なお、口分田は農民の住居の近くに支給されたとは限らず、10km以上も離れたところや島だったこともあったようです。こうしたことも、農民が口分田を捨てて逃亡した理由に挙げられます。

問10

(1) **A2** 比較

「調」ではなく「庸」です。庸とは労働力を提供する代わりに「代納物」という意味で、麻布2丈6尺（約7m80cm）を出させました。なお、調は諸国の産物を朝廷に納める税で、絹や鉄、海産物など34種の品目が規定されており、庸とともに朝廷の財源にあてられ、土木事業などが行われました。律令時代の税制（租、庸、調）は混同しやすいので、整理しておきましょう。

※庸や調などの荷札には、木簡（木の札）がつけられました。平城京跡などから出土した木簡により、当時のさまざまなことがわかります。

(2) **A1** 知識

遣唐使として3年ほど中国にわたったことのある山上憶良（660～733年）は大伴旅人（「万葉集」を編集したといわれている大伴家持の父）と親交があり、貧窮問答歌をはじめ子どもを思う歌など、人生や社会を詠んだ作品を多く残しました。

なお、貧窮問答歌は8世紀初めに作られた長歌で「万葉集」に収められており、農民の貧し

さと里長（里の支配者で、税の取り立てを主な職務としていました）の過酷な税の取り立てのようすを、貧者の問答という形であらわしています。

問11 A2 関係づけ

聖武天皇が「大仏造立の詔」と同じ743年に発布しました。その20年前(723年)、元正天皇が条件付きながら土地の私有を認める「三世一身法」を出したのですが、あまり効果がなかったため、この法令が出されたのです。

聖武天皇のころを中心として栄えた文化は元号から「天平文化」と呼ばれ、東大寺境内にある「校倉造」の正倉院や唐招提寺金堂などがこの当時の姿を現在に伝えています。また、歴史書の古事記や日本書紀、地理書の風土記、日本初の和歌集である万葉集などが編纂されました。

※推古天皇のころ（7世紀前半）を中心として栄えた文化は「飛鳥文化」と呼ばれ、現存する世界最古の木造建築として知られる法隆寺や法興寺（飛鳥寺）などが建てられました。なお、奈良県明日香村にある「石舞台古墳」は、聖徳太子とともに政治を行った蘇我馬子の墓といわれています。

問12 A1 知識

国司などによる荘園からの収奪に対抗するため、荘園の持ち主（領主）は藤原氏など身分の高い貴族や当時力を持っていた寺社に荘園の名義（持ち主の名前）を移し、税を免除される「不輸の権」を得ました。その後、土地を検査しに来る役人（検田使）などの立ち入りを拒否する「不入の権」も得るようになりました。

問13 A1 知識

土地の管理や年貢・兵糧米（戦時に兵士の食料とした米）の徴収、治安維持などを行った職を「地頭」といい、「壇ノ浦の戦い」で平氏が滅んだ1185年、源頼朝が朝廷から公領（幕府の領地）や荘園に設置することを認められました（当初は幕府の勢力範囲であった東日本に限られましたが、1221年の「承久の乱」の後は全国に設置されました）。女性の力が強かったこの時代、地頭に任命された女性もいたようです。

やがて地頭は荘園を侵略するようになり、農民に訴えられることもありましたが、地頭が「耳を切り、鼻を削ぎ、髪を切り…」といった手段で農民を責めたようですが、史料として残っています（1275年、阿比河荘民訴状）。

問14 A1 知識

土地の給与や保護を通じて「御恩」と「奉公」によって結ばれた武士の主従関係を、封建制度といいます。鎌倉時代に將軍と主従関係を結んだ武士を「御家人」といい、將軍からは土地の所有権を認められたり（本領安堵）、新たな土地を与えられたり（新恩給与）し（御恩）、御家人は將軍に奉仕したり幕府の警護にあたりたりしました（奉公）。封建制度は内容を変えつつ、江戸時代まで続きました。

問15

(1) **B1** 置き換え

2万5千分の1の地図の1cmの実際の距離は、25000cm (250m) になります。5cmですから、 $250 \times 5 = 1250$ (m) となります。

(2) **B1** 置き換え

老人ホームの地図記号(㊦)は、2006年(平成18年)に風力発電用風車(㊦)とともに新しく作られました。杖をつくお年寄りが安心して過ごせる施設をイメージしたもので、小学6年生の女の子がデザインしました。

※2002年(平成14年)には博物館・美術館(㊦)と図書館(㊦)、2019年(令和元年)には自然災害伝承碑(㊦)が新しい地図記号として作られています。

(3) **A1** 知識

法然(源空：1133～1212年)はそれまでの浄土教を改めて、ひたすら念仏(南無阿弥陀仏)のみを唱えなさい、という教え(浄土宗)を開き、貴族や庶民に広く受け入れられました。京都府の「知恩院」は法然が往生した(亡くなった)地で、浄土宗の総本山として知られています。

※1 イの親鸞は法然の弟子で「浄土真宗(一向宗、真宗)」を開いた人物、ウの最澄(伝教大師)は平安時代初期に「天台宗」を開いた人物、エの栄西は禅宗の一派である「臨済宗」を開いた人物です。なお、栄西は中国(宋)から茶の種子を日本にもたらしたことで知られています。

※2 平安時代末期から鎌倉時代中期におこった新仏教を「鎌倉仏教」といい、法然や親鸞、栄西のほか、一遍が開いた「時宗」、日蓮が開いた「日蓮宗(法華宗)」、道元が開いた「曹洞宗」もおさえておいてください。

問16

(1) **A1** 知識

一年間に2種類の農作物を同じ耕地で栽培することを「二毛作」といい、気候が温暖な地域で行われてきましたが、最近では行われなくなりました。主作物(表作)のあとに栽培される作物を「裏作」といい、表作には水稲が、裏作には麦類や野菜、菜種、い草などが栽培されました。

※一年間に同じ農作物を同じ耕地で2回栽培することを「二期作」といい、多くは水稲栽培が行われてきましたが、生産調整政策などもあり、現在はほとんど行われなくなりました。

(2) A1 知識

アは大豆、イはそば、ウはにんじんの収穫量をそれぞれあらわしています。小麦は北海道の十勝平野での栽培がさかんですが、自給率は12%しかなく、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどから輸入しています。

問17 A2 順序立てて筋道をとらえる

茶は静岡県の牧ノ原（問7の地図中「ウ」の場所）での栽培がさかんですが、最近では鹿児島県の伸びが大きくなっています（シラス台地の笠野原など）。江戸時代までは京都府の宇治での栽培が知られていましたが、明治時代初期、職を失った土族や川越人足（大井川に橋が架けられたため、失職しました）によって牧ノ原が開拓され、茶栽培が始められました。

問18 A1 知識

村民代表が神社などに定期的・臨時に集まって村おきてや一揆、共同管理している山林の利用、農事などを協議決定した会議を「寄合」といい、これによって団結を強めた村を「惣（惣村）」といいます。室町時代初期（南北朝時代）から畿内（きい）で惣村は成長し、土一揆（→問19）の中心となることもありました。

問19 A2 分類

史料（大乗院日記目録）には「一天下の土民蜂起す。徳政と号し、酒屋・土倉・寺院等を破却せしめ…」とあり、エの「借上」があてはまらないことがわかります。

借上は鎌倉時代から室町時代初期（南北朝時代）にかけてあらわれた高利貸し業者で、土倉は鎌倉時代から室町時代にかけてあらわれた金融業者です。元は質屋で、質物を保管するための「土蔵」から名がおこりました。京都や奈良に多くみられ、後に高利貸しで暴利をむさぼったため、土一揆の襲撃目標となりました。なお、寺院や酒屋（土倉をかねるものも多くいました）も高利貸しを営んでいたため、襲撃されたのです。

※正長の土一揆のほか、守護の支配から領主権を守るために国人（地方の有力武士）が中心となっておこした「山城の国一揆（1485年）」、守護による教団弾圧に敵対した一向宗徒（浄土真宗を信仰する人々）がおこした「加賀の一向一揆（1488年）」もおさえておきましょう。

問20 A2 比較

刀狩令は、1588年に出されました。諸国の農民から「方広寺の大仏造営」を口実にして武器を没収したもので、農民の一揆を未然に防ぎ、兵農分離や身分の固定をはかることを目的としていました。

なお、方広寺の鐘に刻まれた「国家安康・君臣豊楽」という文字が元となって「大阪の陣」がおこったことはよく知られています。

※ア：島原・天草一揆（島原の乱）は江戸時代初期（1637～38年）におこったので、秀吉とは

関係ありません。なお、「パテレン（伴天連）追放令」は1587年に九州を平定した秀吉が発布したもので、宣教師に国外退去を命じた内容です。ただし貿易（朱印船貿易）は続けられていたので、実際の効果はあまりありませんでした。

イ：この御触書は以前、3代将軍徳川家光が1649年に出した「慶安の御触書」と呼ばれていましたが、現在は1697年に甲府藩領（山梨県）で発布されていた農民への心得であると考えられています。したがって、これも江戸時代のものであり、秀吉とは関係ありません。

エ：秀吉は1592～96年の「文禄の役」、1597～98年の「慶長の役」の二度にわたる朝鮮出兵を行いました。したがって、「文永の役・弘安の役」が誤っています。文永の役（1274年）と弘安の役（1281年）は、ともに鎌倉時代（8代執権北条時宗）のときの出来事です。

問21 A2 比較

田下駄は弥生時代から使用されたので、江戸時代の「新しい農具」にはふくまれません。江戸時代、備中ぐわや千歯こき、とうみのほか、脱穀具の「穀竿」や選別具の「千石どおし」、灌漑用小型揚水車の「踏車」など、新しい農具が次々に開発されました。

【備中ぐわ】	【千歯こき】	【とうみ (唐箕)】

問22 A1 知識

アは魚群の通路にあたる沿岸付近に網を固定してサケやマス、サバ、イワシなどを漁獲する「定置網」、イは海底や深いところにいるカレイやヒラメ、カニなどを漁獲する「底引き網（トロール網という袋状の網を引いて海底にいるヒラメやカレイなどを漁獲する「トロール漁業」も、底引き網の一種です）」、ウは強い光を放ってサンマやアジなどを呼び寄せて漁獲する「棒受け網」を、それぞれあらわしています。

※イワシやサバ、アジ、カツオなど群泳する魚類の群れを網で包围し、網の下辺をしぼって漁獲するやり方が「巻き網」です。

問23 A1 知識

天明の大飢饉は、1783年の浅間山の大噴火による降灰被害や1786年の冷害による凶作などを原因として、関東地方や東北地方で多数の餓死者が出た飢饉をいいます。流民が続出して耕作者のいない荒廃地が増え、深刻な農村荒廃をまねきました。

このころ(1767～86年)幕府で権力を握っていたのは老中の田沼意次でしたが、救済策は不十分だったため農村で「百姓一揆」が、都市では「打ちこわし」が続発したこともあり、10代将軍徳川家治の死去とともに、1786年に失脚しました。

※1 田沼意次は積極的な産業振興策をとりましたが、「賄賂政治」という不評をかってしまいました。

※2 イ：新井白石は朱子学者で、6代将軍徳川家宣と7代将軍徳川家継に仕え、「正徳の治」と呼ばれる政治(1709～16年)を行いました。質のよい硬貨(小判)の発行や長崎貿易の制限などが、その内容です。また、白石は歴史研究(徳川政権の正当性を述べた『読史余論』などを著しました)や蘭学の先駆者(イタリア人のシドッチを尋問して西洋の地理・風俗などを記録した『西洋紀聞』などを著しました)としても知られています。

ウ：白河藩主(福島県)だった松平定信は8代将軍徳川吉宗の孫で、11代将軍徳川家斉のもとで老中となり、「寛政の改革(1787～93年)」を行いました。天明の大飢饉の後をうけた改革で、飢饉に備えて米を蓄えさせる「囲米」や借金に苦しむ旗本・御家人救済策の「棄捐令」の発布、軽犯罪者に職業技術を授けるための人足寄場の設置、朱子学以外の学問を幕府直轄の学問所で教えることの禁止(寛政異学の禁)などを行いました。厳しすぎたため、改革はあまり成功しませんでした。

エ：浜松藩主だった水野忠邦は「天保の大飢饉(1833～39年)」後に12代将軍徳川家慶のもとで老中となり、「天保の改革(1841～43年)」を行いました。江戸・大阪周辺の大名・旗本領を幕府の直轄地(天領)とする「上知(地)令」を発布したり、江戸に流入した下層民を帰農させて荒廃した農村の再建をはかる「人返しの法」を行ったり、物価を抑えるために同業者組合の株仲間を解散させたりしましたが、「上知令」の失敗などにより、改革はうまくいきませんでした。

問24 A2 順序立てて筋道をとらえる

アは1890年、イは1904年、ウは1902年、エは1874年、オは1910年、カは1889年、キは1894年、クは1905年、ケは1871年、コは1877年、サは1895年、シは1885年、スは1868年の出来事です。したがって、年代の古い順に並べかえると

【ス→ケ→エ→コ→シ→カ→ア→キ→サ→ウ→イ→ク→オ】

となり、4番目が「コ」、8番目が「キ」、12番目が「ク」であることがわかります。

※ア～スを10年ごとに区切ると、1860年代…ス、1870年代…エ、ケ、コ、1880年代…カ、シ、1890年代…ア、キ、サ、1900年代…イ、ウ、ク、1910年代…オ、となります。このように区切り、それぞれの年代ごとに並べかえると、解答が導きやすくなります。

問25 A1 知識

1918年8月に富山県で発生した米騒動は1道3府（当時は「東京府」でした）38県にわたって広がり、寺内内閣は軍隊を出動し鎮静させました。これによって寺内内閣は総辞職し、藩閥内閣は終わりを告げたのです。次いで組閣したのは立憲政友会総裁だった原敬で、最初の非華族の首相による本格的な政党内閣でした（不完全な政党内閣は第一次大隈重信内閣で、大隈と板垣退助が中心となったので「隈板内閣」と呼ばれました）。原敬は「平民宰相」と呼ばれて期待され、ベルサイユ条約の調印や国際連盟への加盟などを行いました。普通選挙運動には消極的だったことなどから、東京駅で暗殺されてしまいました。

※ア：立憲改進黨の党首だったことや東京専門学校（現・早稲田大学）を創立したことで知られる大隈重信は佐賀藩出身で、二度にわたって内閣を組織しました。第二次内閣のときの1914年、第一次世界大戦に参戦し、翌年、中国（中華民国）に「二十一か条の要求」を突きつけました。

イ：加藤高明は大正時代におこった「第二次護憲運動」後に内閣を組織しました。普通選挙法と治安維持法を成立させた（1925年）ことで知られています。

エ：桂太郎は長州藩出身で、三度にわたって内閣を組織しました。第一次内閣では日英同盟の締結や日露戦争の遂行などを行いました。1905年の「日比谷焼き打ち事件（ポーツマス条約で賠償金が獲得できなかったことなどに対する、条約破棄を叫んだ人々による事件）」で国民の支持を失いました。第二次内閣では韓国併合を行いました。第三次内閣を組織した直後に「第一次護憲運動」がおこったため、わずか53日で総辞職しています。2019年に安倍晋三前首相に抜かれるまで、通算在職日数は最多でした。

問26 B2 特徴的な部分に注目する 順序立てて筋道をとらえる 抽象化

まず、農業従事者の数に注目すると、年を経るごとに数が減っていることがわかります。特に1990年と2019年を比べると、半数以下になっています。

次いで65歳以上の農業従事者の数を見ると、増え続けたあと減っていることがわかるのですが、そこではなく、割合に注目してください。1990年が約27%、2000年が約51%、2010年が約61%、2015年が約65%、2019年が約70%（69.7%）となっており、増加し続けていることがわかります。

以上の2点を記述してください。なお、後半は「65歳以上の高齢者が農作業の中心となることが読み取れる」「高齢化がすすんでいることが読み取れる」などとまとめてもかまいません。

問27 B1 抽象化 推論

解答はすべて本文中にありますので、漢字などの写し間違い（特に「太閤検地」の「閤」の字。内閣の「閤」と間違えやすいです）に注意してください。国語の「抜き書き」も同じですが、本文では漢字で書かれているのに、ひらがなで答えてしまうような例がたびたびみられます。気をつけてください。

※この問題から、土地制度の歴史の要点をつかんでおいてください。

問28 **B1** 抽象化 順序立てて筋道をとらえる

前問と同じく、この問いも解答は本文中にありますので、本文を注意深く読み直してください。
アは江戸時代、イは鎌倉時代、ウは大正時代、エは奈良時代、オは昭和時代（終戦直後）、カは
弥生時代、キは室町時代ですので、これを古い順に並べかえると

【カ→エ→イ→キ→ア→ウ→オ】

となり、3番目が「イ」、6番目が「ウ」であることがわかります。

※本文を読まずに、^{せんたくし}選択肢の文がそれぞれ何時代の農業のようすをあらわしているのかを判断で
きるようにしておきましょう。

(記述問題の採点について)

- ・ 解答の字数制限に従っていない場合…不正解
- ・ 明らかな誤字・脱字がある場合…－1点

